

EU Indicators

発表日:2019年10月1日(火)

欧州経済指標コメント:9月ユーロ圏消費者物価

～約3年振りの1%割れ～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

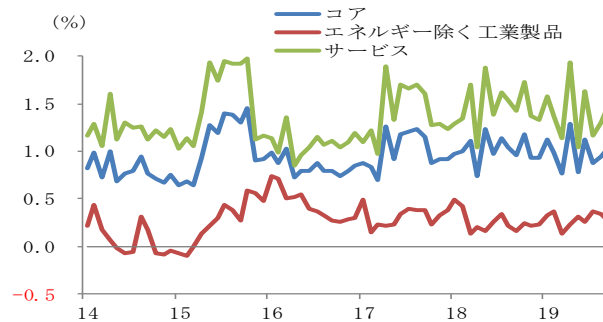
- ユーロ圏の消費者物価の9月速報値は前年比+0.9%と前月(同+1.0%)から上昇率が一段と鈍化し、2016年11月以来の1%割れを記録した。今月のヘッドライン計数を下押ししたのはエネルギー価格。中東情勢の緊迫を受け、原油価格は月央にかけてやや上昇する局面もあったが、月平均でみた上昇幅は限定的で、価格上昇が著しかった前年同月と比較した下落率はむしろ加速した。原油価格が大幅に上昇しない限り、向こう数ヶ月のエネルギー価格は一段と下落幅を拡大し、物価の下押しに働く可能性が高い。公表済みのその他項目では、食料・たばこ・アルコール飲料が前月から上昇率が鈍化した。変動の大きい食料・たばこ・アルコール・エネルギーを除いたコア物価は同+1.0%と過去2ヶ月の同+0.9%から僅かながら加速した。
- コア物価の細かい内訳は10月16日の確報値で公表される。過去2ヶ月のコア物価は、暦要因やサンプル要因による振れが大きいパッケージ旅行が下押しに働いた。既報のドイツの州別統計によれば、今月はこうした要因が剥落し、コア物価の押し上げに働いた模様。ただ、コア物価の上昇加速は僅かで、過去1年余り、1%前後を行ったり来たりしている状況に変わりがない。
- 今月の計数は、9月の緩和パッケージ発表に合わせて公表されたECBスタッフの物価見通しと概ね一致する。そこでは、物価は向こう1年余り、1%前後で推移した後、来年後半に底入れし、2021年後半によく1%台半ばに到達すると予測されている。こうした慎重な物価見通しをさらに下振れする事態が続けば、ECBは追加緩和を余儀なくされよう。

■ユーロ圏:消費者物価(前年比)



注:コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏:コア消費者物価(前年比)



注:コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価(%)

| | 2018 | | | | 2019 | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|--|--|
| | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
| 消費者物価 (前期比) | 0.3 | 0.0 | 0.5 | 0.2 | -0.3 | 0.0 | 0.2 | 0.1 | 0.3 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.0 | | |
| 消費者物価 (前年比) | 1.9 | 1.4 | 1.4 | 1.0 | 1.5 | 1.4 | 1.5 | 1.4 | 1.7 | 1.2 | 1.3 | 1.0 | 1.0 | 0.9 | | |
| コア消費者物価 (前年比) | 1.0 | 1.0 | 1.1 | 0.9 | 0.9 | 1.1 | 1.0 | 0.8 | 1.3 | 0.8 | 1.1 | 0.9 | 0.9 | 1.0 | | |
| 食料/アルコール/たばこ (前年比) | 2.0 | 2.0 | 1.5 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 2.3 | 1.8 | 1.5 | 1.5 | 1.6 | 1.9 | 2.1 | 1.6 | | |
| 食料 (前年比) | 1.4 | 1.5 | 1.2 | - | 1.2 | 1.3 | 1.8 | 1.3 | 1.1 | 1.1 | 1.3 | 1.7 | 1.9 | - | | |
| アルコール (前年比) | 2.5 | 1.9 | 1.3 | - | 2.2 | 1.9 | 2.0 | 1.9 | 1.3 | 1.5 | 1.1 | 1.1 | 1.0 | - | | |
| たばこ (前年比) | 5.4 | 4.9 | 4.1 | - | 5.0 | 5.0 | 5.3 | 4.5 | 4.1 | 4.2 | 4.1 | 3.9 | 4.0 | - | | |
| エネルギー (前年比) | 8.4 | 3.9 | 3.6 | -0.7 | 5.5 | 2.7 | 3.6 | 5.3 | 5.3 | 3.8 | 1.7 | 0.5 | -0.6 | -1.8 | | |

注:消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。